

令和5年5月 斐伊川水系水質情報

令和5年5月(宍道湖12日・中海17日採水)								単位:mg/l(Chl-a: µg/l)		
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
C O D	全層	4.1	△	平 年 並 み	2.9	○	良好(平年並み)	3.9	△	平 年 並 み
全窒素	上層	0.39	○	良好(平年並み)	0.33	○	良好(平年並み)	0.58	△	平 年 並 み
全リン	上層	0.036	△	平 年 並 み	0.026	○	良好(平年並み)	0.054	△	平 年 並 み
Chl-a	上層	5.8	○	良 好	4.2	△	平 年 並 み	13	△	平 年 並 み
塩化物イオン	上層	3,430	△	平 年 並 み	9,550	△	平 年 並 み	9,000	△	平 年 並 み
	下層	3,490	△	平 年 並 み	17,100	△	平 年 並 み	15,700	×	やや高い
溶存酸素	上層	10.0		平 年 並 み	9.6		平 年 並 み	11.3		平 年 並 み
	下層	9.9		平 年 並 み	3.9		平 年 並 み	1.5		かなり低い

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項 目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
C O D	全層	4.5	横ばい	2.5	やや上昇	3.3	やや上昇
全窒素	上層	0.36	横ばい	0.31	横ばい	0.34	上昇
全リン	上層	0.031	横ばい	0.023	横ばい	0.030	やや上昇

宍道湖の透明度は1.6mから2.1mと上昇し、良好。中海の透明度は2.7mから3.1mとやや上昇し、良好。米子湾の透明度は1.9mから2.1mと横ばいで、平年並みになっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

	↑	★	<非常に高い>
平均値＋標準偏差値の3倍	↑	☆	<かなり高い>
平均値＋標準偏差値の2倍	↑	×	<やや高い>
平均値＋標準偏差値 10年間平均値 平均値－標準偏差値	↑	△	<平年並み> ただし、環境基準値以下の場合は<良好>とする。
平均値－標準偏差値の2倍	↓	○	<良好> ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。 <やや低い> (塩化物イオン)
平均値－標準偏差値の3倍	↓	◎	<かなり良好> <かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

注) 平均値±標準偏差値 ……全体のおよそ 68.2%

前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化…やや上昇、やや下降、横ばい

平均値±標準偏差値の2倍…全体のおよそ 95.5%

前月値±標準偏差値の1/2以内の変化…横ばい

平均値±標準偏差値の3倍…全体のおよそ 99.7%